

オンライン授業公開講座

○受講生募集

熊本県立大学では、地域の方々が大学の正規授業を学生と一緒に受講する「授業公開講座」を平成2年度から実施し好評を得ていますが、新型コロナウイルス感染予防のため休止しています。

そこで、大学に来なくても自宅で受講できる「オンライン授業公開講座」を令和2年度より新たにスタート致しました。学生と同じ授業をご自宅で、自由な時間に、受講期間中は何度でも繰り返しご自分のペースで学べます。

今回は令和4年度・夏期講座として14講座をお届けしますので、この機会に新しい学びを始めてみませんか？（詳しくは熊本県立大学HPをご覧ください。）

応募期間 2022年5月6日（金）～5月22日（日）

受講料 1講座あたり5千円

受講期間 2022年7月～10月

応募方法 熊本県立大学HPから→ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>
熊本県立大学HP>「お知らせ」>[【受講生募集】オンライン授業公開講座2022・夏期講座]



講座一覧

※授業計画は変更する場合がございます。

No	講座名	講師名	授業計画	授業撮影時期
1	情報メディア論	石橋 賢	14回	2021年
2	公共政策論 I	井寺 美穂	15回	2022年
3	地方自治論	澤田 道夫	15回	2021年
4	はじめての英語音声学	武上 富美	10回	2021年
5	環境と生物圏	堤 裕昭	15回	2020年
6	建築環境工学 I	辻原 万規彦	12回	2022年
7	英語圏文学講読 I	難波 美和子	8回	2021年
8	文学研究への招待	難波 美和子	8回	2022年
9	国際経済学	本田 圭市郎	15回	2021年
10	マクロ経済学 I	本田 圭市郎	13回	2021年
11	マーケティング	丸山 泰	11回	2021年
12	消費者行動論	丸山 泰	11回	2021年
13	健康の科学	松本 直幸	10回	2021年
14	経営分析論	望月 信幸	15回	2021年

① 情報メディア論 講師：石橋 賢

講義内容

ICT技術やサービスでは、多様なメディアを用いて情報を扱います。そのため、情報メディアを学ぶには、横断的に情報分野を知る必要があります。本講義では、ビジュアルコンピューティング、ヒューマンコンピュータインタラクション、バーチャルリアリティなどについて説明します。なお、情報分野に関する専門知識は必要ありません。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

お知らせ：レジュメや講義補助資料はClassNotebookを利用予定。



② 公共政策論 I 講師：井寺 美穂

講義内容

本科目では、政府政策が法律や条例として形成されるプロセスに着目し、アクター間の相互作用や諸制度などについて学びます。まずは、政府政策の分析視角となりうる理論的枠組みを学習した上で、政府政策の形成過程を「省庁」、「政府」、「与党」、「国会」という観点から概観します。

本科目を受講することにより、政府政策の機能や役割はもちろんのこと、その形成過程に関する知識の理解・習得を目指します。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2022年度撮影



③ 地方自治論

講師：澤田 道夫

講義内容

この授業では、私たちにとってもっとも身近な政治・行政様式である「地方自治」の理論と制度について学びます。

地方自治に関する知識とその実務のイメージを掴み、望ましい地方自治を実現するための住民と行政との関係、そして将来の地方自治のあり方について考えることができるようにしていきます。

講義レベル：1年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影



④ はじめての英語音声学

講師：武上 富美

講義内容

一般音声学の基礎知識を習得し、英語における音の体系について理論的に学習する。

実際の発音練習を行い、英語によるコミュニケーションを円滑に図るために発音のスキル向上をめざす。

講義レベル：1年生向 授業計画：全10回 ●2021年度撮影



☆武上先生からのメッセージ → [こちらから](#)

5 環境と生物圏

講師：堤 裕昭

講義内容

地球46億年の歴史の中で、地球の環境、そこに棲息する生物や生態系がどのような必然性と偶然性の中で形作られてきたかを解説します。

我々の棲む地球がどのようにしてできあがり、そこで生物が誕生して、どのような進化を遂げてきたのか、地球史と生物進化史の概要に関する知識を習得することを目標とします。

講義レベル：1年生向 授業計画：全15回

●2020年度撮影

※冬期講座は2022年度版予定



6 建築環境工学 I

講師：辻原 万規彦



講義内容

建築環境工学のうち、熱環境に関する基礎を解説しています。
内容は、建物内外の熱の移動、結露の仕組み、暑さ・寒さの感じ方、太陽の動きと日影などです。
知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指しています。
演習問題にも取り組んで、理解を深めてください。
高校卒業程度の数学や物理の知識が前提です。

講義レベル：2年生向 授業計画：全12回

●2022年度撮影

7 英語圏文学講読 I

講師：難波 美和子

講義内容

英語で書かれた文学は多様に展開している。〈イギリス文学〉〈アメリカ文学〉という枠組みでは、収まりきれないことは、〈カナダ文学〉や〈オーストラリア文学〉をどこへ配置するかを考えればわかるだろう。その一方、〈カナダ文学〉は英語で書かれているとは限らない。国境を越えて活動する作家たちは〈国名+文学〉の枠組みではとらえきれない。

〈英語〉もひとつとおりではない。イギリスの作家たちの中にもさまざまな特徴の英語があり、アメリカの作家も出自やアイデンティティによって異なった英語を表現の手段としてきた。

英語を第二第三の言語として獲得した作家たちも増えつつある。現代の作家たちは国境のみならず言語という枠組みも食い破り、それぞれの表現を模索している。多様化し、拡大する英語使用者とともに、英語による文学が何を産み出しているのかを、現代南アジアの英語文学を中心に取り上げながら考える。

現代の英語と英語文学の背景について概観したのち、現代南アジアの英語で書かれた小説を読む。

講義レベル：3年生向 授業計画：全8回

●2021年度撮影



8 文学研究への招待

講義内容

人間の文化における言語芸術の広がりや言語とモノの領域から視野に収め、「文学」を考える手がかりとする。人間は「ことば」によって周りのことやお互いを認識し、自分を表現してきた。「文学」はその中から生まれた様式の一つである。文学はそれだけで独立しているものではなく、日常的な言葉の使用や長い歴史をもつ口承文芸と密接にかかわっている。さらには、物質としての書物の在り方によっても変化してきた。

この授業では、人間の文化における「文学」の位置づけを概観し、「文学」以前に歌や語りに代表される口承文芸が果たしてきた役割を探る。そして、文字の導入が思考力と知識の蓄積に果たした役割について考える。ことばと物語、文字と語りの歴史的展開を学ぶことにより、「文学」が包含する幅広く自由な世界を見渡すための基礎的な力を養うことを目指す。

講義レベル：1年生向 授業計画：全8回予定

●2022年度撮影

9 国際経済学

講師：本田 圭市郎

講義内容

国際経済学は、国境を越えた取引に注目し、そのメカニズムの解明を試みる学問である。現代社会では、輸出入だけでなく、企業やヒトの移動、さらには諸外国との自由貿易協定や貿易摩擦など、国際的な取引が経済問題の中で大きな比重を占めている。この授業では、特にモノ・サービスの取引について注目する国際貿易論を扱い、その理論的枠組みを用いて、国際経済に関する諸問題や政策の是非を自分で考えられるようになることを目的とする。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

お知らせ：教科書として、阿部顕三・遠藤正寛(2012)『国際経済学』(有斐閣アルマ)を元に講義を進めるが、必須ではない。(練習問題などで使用予定)
この講義は「ミクロ経済学」(同担当のマクロ経済学とは別の科目で、公開講座では提供していない)の基礎知識を有している方を対象とする。



10 マクロ経済学 I

講義内容

マクロ経済学は、人間の経済活動を一国全体の集合体として捉え、そのメカニズムの解明を試みる学問である。この授業では、マクロ経済学Iの内容を基に、より現実的な分析が可能となるマクロ経済学の応用理論を習得し、実際に行われている経済政策や経済問題の影響の検証を自分で行うことができるようになることを目的とする。

講義レベル：2年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影

お知らせ：教科書として、平口良司・稲葉大(2020)『マクロ経済学入門の「一歩前」から応用まで』(新版、有斐閣ストゥディア)を元に講義を進めるが、必須ではない。(練習問題などで使用予定)
「マクロ経済学Ⅱ」は「マクロ経済学I」を受講済みであることが条件。

11 マーケティング 講師：丸山 泰

講義内容

近年、マーケティングは顧客満足を実現する考え方として、民間企業だけでなく、行政、自治体や大学、医療、福祉分野でも活用されてきています。

本講義では、マーケティングの基本概念を理解し、“人を気持ちよく動かす”マーケティングの仕掛け、仕組み、考え方について、その基礎を理解していきます。

具体的な事例紹介により、分かりやすくマーケティングを学んでいきます。

講義レベル：2年生向 授業計画：全10回 ●2021年度撮影



12 消費者行動論

講義内容

消費者をよく理解することなしに、マーケティングは有効に機能しないと
言っても、過言ではない。

消費者の行動を、問題認識－情報探使－評価・選択－購買－購買後評価といった局面別に理解を深め、人々がどのような刺激によってどのような反応をするのか、そのメンタルモデルについて学んでいく。

単に理論を学ぶだけでなく、そのような消費者の行動を探索するリサーチの実際まで、消費者行動を理解していく知識とスキルを身に付ける。

今年度は、学生とのQ&Aが付いてより深い学びをサポートします。

講義レベル：3年生向 授業計画：全11回 ●2021年度撮影

前提となる知識として、「マーケティング」を受講していることが望ましい。

13 健康の科学

講師：松本 直幸

講義内容

「健康」「運動」「生命」「からだ」など生命科学に関わるキーワードに基づき、できるだけ日常生活に関連した話題を取り上げながら、生命のしくみや不思議さ、巧みさに関心を持てるよう解説する。

生物の知識がなくとも理解できる「生命科学」の話題を通して、「脳とからだ」に対する興味を喚起する。一話完結型講義。

講義レベル：1年生向 授業計画：全10回 ●2021年度撮影



14 経営分析論

講師：望月 信幸

講義内容

本講義では、企業の経営状態を把握するための評価ツールとその利用方法について学習する。具体的には、企業が作成する貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などを用いて企業の経営状態を把握する財務諸表分析について理解する。また、財務諸表だけではわからない企業の経営状況を把握するツールとして、ファイブフォース分析やSWOT分析などを学習する。

講義レベル：3年生向 授業計画：全15回 ●2021年度撮影



募集要項

◇受講資格

- 1) 受講規約に同意すること。
- 2) 18歳以上であること。
- 3) 個人のメールアドレスを有し、メールの送受信を日本語でできること。
- 4) パソコン、タブレットを用いて、Youtube等で配信される動画を1時間30分程度、支障なく継続視聴できること。
- 5) 期日までに受講料の振り込みが完了していること。

◇募集期間

2022年5月6日（金）AM9:00～5月22日（日）

◇開講期間

2022年7月～10月

◇募集人員

1講座20名

◇申込方法

申し込みフォームは熊本県立大学HPから→ <https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>

熊本県立大学HP>「お知らせ」>[【受講生募集】オンライン授業公開講座2022・夏期講座]



◇受講生選定方法

応募者が募集人員（1講座20名）を超えた場合は、先着順で決定。

◇結果の通知

2022年6月中旬以降、申込者員に結果を通知いたします。

◇受講料

1講座5千円

◇必要な環境

受講用端末：パソコン/タブレット（Windows8.1以降、MAC OS X 10.11以降）
インターネット：固定回線/モバイル回線

◇お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター メール：renkei-c@pu-kumamoto.ac.jp 電話：096-321-6612 月～金曜日 AM9:00-PM4:00（祝日は除く）